

# 体育科学習指導案

授業日 令和6年1月29日

学習者 4年2組 30名

授業者 萩原 さつき

## 1. 単元名「マット運動」

## 2. 単元の目標

- ・いろいろな回転系・巧技系の技に取り組み、それぞれについて自分の能力に応じた技ができる。
- ・自己の能力に適した課題をもち、技ができるようにするための活動を工夫できる。
- ・運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動したり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができる。

## 3. 単元の評価規準

知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
いろいろな回転系・巧技系の技に取り組み、それぞれについて自分の能力に応じた技ができる。	自分の能力に適した課題をもっている。 自分の動きのできばえを確かめ、友達とアドバイスを合いながら、工夫して運動している。 技の練習の仕方を知り、課題に合った練習方法や練習の場を選んでいる。	運動に進んで取り組もうとする。 きまりを守り、友達と励まし合いながら運動しようとする。 運動する場所や器械・器具の安全に気を付けて運動しようとする。

## 4. 単元計画と学習評価（全8時間）

世界で一つの連続技を発表しよう。

①ゴール

時	学習内容	学習評価（知・思・主）〈方法〉
1	○オリエンテーション ・学習の進め方 ・安全にかかわる約束 ・準備・片付けの確認 ○基本的な回転技や倒立系の技のイメージやポイントを知ろう。	〈導入〉 集合・整列・挨拶 準備運動 基礎感覚作り 課題の確認 〈終末〉 学習の振り返り 集合・整列・挨拶 ・運動に進んで取り組もうとする。（主）〈行動観察〉 ・きまりを守り、友達と協力しながら器械・器具の準備や片付けをしようとする。（主）〈行動観察〉 ・基本的な回転技や倒立系の技のイメージやポイントを知ることができる。（知）〈ワークシート〉
2 3 4	○いろいろな技に取り組もう。 前転・開脚前転・後転・開脚後転・補助倒立ブリッジ・側方倒立回転・首はね起き・壁倒立・頭倒立 ○発展技に挑戦してみよう。 伸膝後転・倒立ブリッジ・ロンダート・頭はね起き・補助倒立	・技のイメージやポイントに気を付けて練習に取り組み、基本的な回転技や倒立系の技を身につける。（知）〈ワークシート〉 ・自分の動きのできばえを確かめ、友達とアドバイスを合いながら、工夫して運動している。（思）〈行動観察・タブレット〉 ・運動に進んで取り組み、友達と励まし合いながら安全に気を付けて運動しようとする。（主）〈行動観察〉
5 6	○自己の課題を見つけて取り組もう。 ・できそうな技を練習する。 ・得意な技に磨きをかける。 ・難しい技に挑戦してみる。	・いろいろな技に挑戦し、自分の能力に応じた技を見つけることができる。（知）〈行動観察・タブレット〉 ・自分の能力に適した課題をもち、課題に合った練習方法や練習の場を選んでいる。（思）〈行動観察・タブレット〉
7 (本時)	○見せたいポイントを考えながら、連続技の練習に取り組もう。	・自分の能力に適した技を組み合わせ、練習することができる。（知）〈タブレット〉 ・友達の動きを見て、よい点や工夫したい点を詳しく伝えている。（思）〈行動観察〉
8	○世界で一つの連続技を発表しよう。	・自分の能力に適した連続技を発表することができる。（知）〈行動観察〉 ・運動に進んで取り組もうとする。（主）〈行動観察・タブレット〉

④自己決定

⑦共有

## 5. 本時でめざす子どもの姿

- 他者と関わり合いながら、きまりを守り、安全に気を付けて、進んで運動することができる。(主体的に学習に取り組む態度)〈行動観察・交流〉
- 自分の能力に適した技を模索する中で、技のポイントや友達からのアドバイスを生かし、よりよい発表となるよう工夫して練習している。(思考・判断・表現)〈行動観察・交流・タブレット〉
- 友達の動きを見て、よい点や工夫したい点を詳しく伝えている。(思考・判断・表現)〈行動観察〉

## 6. 仮説との関連

### ①課題設定の工夫 (仮説1)

できそうな技・得意な技・挑戦したい技など自分で連続技を組み立て、さらに見せ方を自分で決めることによって、自己決定の範囲を広げ、技の達成度だけではなくより自分らしさを追求できる課題とした。

### ②学びの場の保障 (仮説2)

様々な技の練習コーナーを作り、児童が自由に練習の場や方法を選んで行なえるように考えた。また、友達とアドバイスし合う時間を設定することで、より多くの児童と交流の機会をもつことができ、アドバイスを伝え合える時間が保障されるのではないかと考えた。

## 7. 本時の学習展開 (7 / 8)

	児童の学習活動	評価□・留意点※
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○準備運動・基礎感覚作り</li> <li>○単元のめあてと本時の学習内容を知る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">世界で一つの連続技を発表しよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技の組み合わせ、見せるポイントについて確認する。</li> </ul>	※単元のめあてを伝え、学習の見通しをもたせる。 ※児童が自由に技の見せ方を考えられるよう、前時に、子どもたちからやってみたいことの意見を聞いたり、教師からバリエーションを提示したりしておいたものを確かめる。
展開 30分	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;">           課題 見せたいポイントを考えながら、連続技の練習に取り組もう。         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○連続技の練習に取り組む。(個別学習、協働学習)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で考えるか、友達とチームになって考えるか、個人でやりながら時々友達と交流するかを自分で選び、それぞれ取り組む。</li> <li>・自分の連続技の動画を撮影して確認する。</li> </ul> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;">           ○技の組み合わせと見せ方を、タブレットを見せ合いながら交流する。         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流から生じた反省や改善点を生かしながら練習する。</li> <li>・活動時間の目途を決める。</li> </ul>	※様々な技の練習コーナーを作り、児童が安全に取り組めるように配置を工夫する。 □自分の能力に適した技を組み合わせ、練習することができる。(知)〈タブレット〉 □友達の動きを見て、よい点や工夫したい点を詳しく伝えている。(思)〈行動観察〉
終末 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の振り返りをする。</li> <li>○次時への見通しをもたせ、学習意欲を高める。</li> </ul>	※振り返りの視点を提示する。 ※新たに生じた反省点については、次時に生かしていくことを確認する。